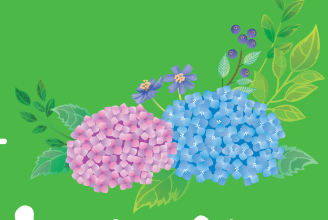


2018.6
夏

広島県 医療勤務環境改善支援センター



News Letter

勤務環境改善マネジメントシステム

STEP 6 取組の実施

『取組の実施』～着実な実行、適度なフィードバック～

計画を決定したら、いよいよここからが本番です。

まずは決定した計画を再度周知し、着実に実行していきます。実行すると予期せぬ事態も起こります。その際には、推進チームで早めかつ柔軟に検討、対応していきます。計画に過剰にこだわることなく適宜修正等検討していきます。

推進チームの打合せは定期的かつ効率的に行い、途中経過を情報交換し、経営層やスタッフにも適度な頻度・内容でフィードバックしていきます。






計画の項目によっては、一部の部署で試行的に実施することも有効です。

【「アクションプラン・シート」記入例】 医師の業務負担が重く、医師の健康面のリスクを軽減したい医療機関

目標 医師が健康面での不安なく、継続的にその能力を発揮することができるよう勤務環境を整備する

具体的取組内容	担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対策① ○年○月○日までに、医師事務作業補助者を活用し、医師全員が勤務と勤務の最低休憩時間の当院ルール以上の時間を確保できるようにし、可能な限り、夜勤明けはオフにする。													
医師事務作業補助者に委譲可能な業務を分析する。		←→											
受け入れ方法や体制について検討する。					←→								
トライアルの実施と結果の評価、今後に向けて検討する。							←→						
診療報酬改定で強化された「〇〇加算」の活用を検討する。							←→						
対策② 医師の健康支援として、健康的な生活習慣について見直す機会を提供する。													
医師の健康状態を把握する。		←→											
健康的な生活習慣を学ぶ研修会を開催する。										←→			

取組の実施のポイント

-  着実に実行する
-  予期せぬトラブルには早めかつ柔軟に対応する
-  適度な頻度・内容でフィードバックする
-  ひろくスタッフに働きかける
-  試行的導入も考える

※医療分野の「雇用の質」向上のための
勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)
平成27年3月(以下、手引き)より抜粋、編集



最近の活動

平成29年度 広島医療安全研修会の共催

平成30年3月1日、広島県医師会館（広島市東区）にて、広島県医療安全支援センターとの共催で標記研修会を開催しました。

研修会では、和歌山県立医科大学 名誉教授 畑埜義雄先生をお招きし「医療安全とコーチング流コミュニケーション」というテーマで、医療安全においても重要なコミュニケーションについてご講演頂きました。また、医師、弁護士など専門家を招いてのパネルディスカッションも行いました。

医療勤務環境改善支援センターではブースを設置し、情報提供等を行いました。



研修会風景 壇上は 畑埜義雄先生

平成30年度 診療報酬の改定について

平成30年度の診療報酬改正では、「人生100年時代を見据えた社会の実現」などの基本認識が掲げられました。

病院に関連する部分では、7対1、10対1等の入院基本料の統合再編が大きな改正点でしたが、勤務環境改善の視点からは医師事務作業補助体制加算や看護補助体制などの評価引上げなど、病院での勤務環境改善に取組みやすい環境となりました。また総合入院体制加算では、勤務環境改善の対象をこれまでの病院勤務医から医療従事者全体に拡大し、責任者の設置や新たな推奨項目による計画の作成などが施設基準に盛り込まれました。

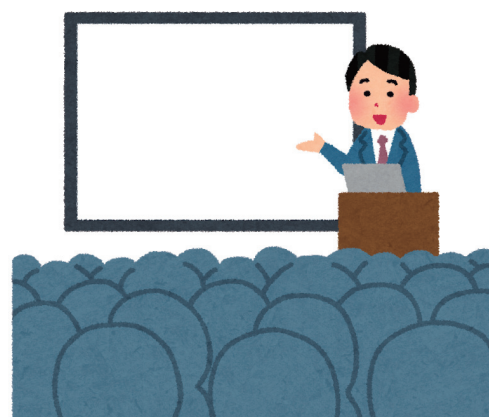
今回の改定は、勤務環境改善の取組が評価された診療報酬改定であるとも言えます。

お知らせ

セミナーのご案内

平成30年8月30日、アークホテル広島（広島市南区）にて、「第3回医療勤務環境セミナー」（主催：広島県医療勤務環境改善支援センター）を開催します。

「労働時間管理の正しい知識について」、「医療勤務環境改善マネジメントシステム導入の実際」等の講演を予定しています。詳細については近々、ご案内する予定です。



お問い合わせ

広島県 医療勤務環境改善支援センター 広島県健康福祉局医務課内

TEL:082-513-3056

受付時間：(平日)10時～12時、13時～16時
(土日祝日、年末年始を除く)